自主財源と人口を含め、適正であると思うか

市長／職員数の適正化に取り組む。

松永忠次 議員

議員 自主財源が63億2,217万円であるが、島原市、雲仙市は。

財政課長 島原市の自主財源は76億円で32%、市税が46億7,900万円で19・6%。雲仙市は自主財源は73億円25・1%、市税が38億である。

議員 市部局は職員数及び自主財源と人口を含め、適正であると思うか。

市長 これが適正かと言われても、なかなか難しい部分があり、継続して、職員数の適正化に取り組む。

議員 平成25年度再配置検討委員会の答申後の検討は。

副市長 平成28年度から第2次定員適正化計画に基づき推進していく。

議員 スピード感ある行政を行っていただきたい。

行政改革について

議員 我が南島原市は、島原市、雲仙市より自主財源が大幅に少ない現況の中、職員数が大変多いが、行革はどのように考えるのか。

市長 2市と比べ確かに多い状況である。

今後第2次定員適正化計画に基づき適正化に取り組む。

議員 本市の市税及び自主財源は。

財政課長 市税は、30年度決算で36億、約11%程度となっている。

職員数　平成31.4.1現在（単位：人）

区分	島原市		雲仙市		南島原市	
	条例定数	現員数	条例定数	現員数	条例定数	現員数
市長部局	353	282	424	315	400	363
教育委員会	54	37	51	30	54	49
企業局	19	15	12	18	23	21
派遣	－	10	－	15	－	16
合計	450	360(兼2)	499(兼34)	391(兼26)	500	467(兼3)

学校その他の教育機関、選挙管理委員会、農業委員会、監査事務局、議会事務局は省略しています。　※（　）の数は再掲とする。

一般会計の財源　（単位：千円）

区分		島原市	雲仙市	南島原市
自主財源	市税	4,679,496	3,812,991	3,420,983
	小計	7,629,219	7,334,595	6,322,127

人口

区分	島原市	雲仙市	南島原市
人口	45,003人	43,559人	45,676人

※人口は、住民基本台帳の数値（平成31年4月末現在）

3市の職員数と財源

湯楽里について

議員 毎週火曜日が定休日になっているが、市民ファーストの考えはないか。

福祉保健部長 大変心苦しいが、火曜日は1日かけて清掃する形で休館している状況である。

議員 6月の定例会で福祉センター条例の一部改正で「地域住民の交流を促進し、市の活性化に寄与するとともに、健康増進及び福祉の充実を図る拠点」と謳っているが、条例自体おかしいのでは。

福祉保健部長 湯楽里活性化懇話会を結成し、管理経費、コストカット等も含め検討している。

議員 改善を即、せんばいかん。

その他の質問

・市のイベントについて

質問の様子を動画で見よう

島原道路の完成予定は

市長／まだ現状では言えない。

吉田幸一郎 議員

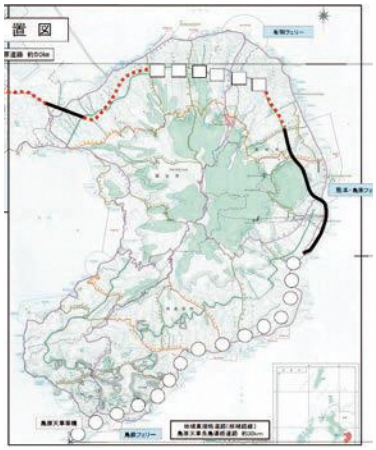
議員 地場産業の振興は物流発展なくしては難しく、また地域活性化策の地方再生を考えても最終的な最重要課題は、高規格道路や基盤道路整備を含む道路整備である。現在進行中の島原道路の現状の取り組みと、今後の計画はどうなっているのか。

市長 現状は、延長約50kmの内、平成11年に島原深江道路が供用開始、24年に島原中央道路、25年に愛野森山バイパス、29年に吾妻愛野バイパス、30年に小船越インター～栗面インターまでが供用開始され、全体の約35%、17・5kmが開通されている。その他の区間については、23年に諫早市の長野―栗面工区、28年度に瑞穂町～吾妻町が、整備区間として採択された。諫早インター工区と森山拡幅約5kmを含め、現在、5区間で整備が進められている。今後の計画は、有明町～瑞穂町間の約10kmは、国へ地元選出の国会議員、知事、島原半島の3市長で、令和2年度の新規事業化の要望を行った。11月には島原道路建設促進大会を開催し3市長と議長と国や県への要望活動を予定している。

議員 南島原工区地域高規格道路の取り組みと計画はどうなっているのか。

市長 深江町から口ノ津港までの約30kmは、平成6年12月に候補路線として指定をされたが、現在に至るまで進捗がない状態だ。市内の各種団体の代表者を中心に、南島原工区地域高規格道路の建設促進期成会を立ち上げ、早期事業化に向け要望を行っている。

議員 命の道としても大事な事である。地元の副大臣の加藤先生や、地方創生大臣の北村先生、知事にお願いして、早期実現に向け市民、行政、議会一丸となって頑張っていきましょう。



地域高規格道路の要望箇所位置図

その他の質問

・文化・スポーツ振興

・南島原市多目的広場

質問の様子を動画で見よう